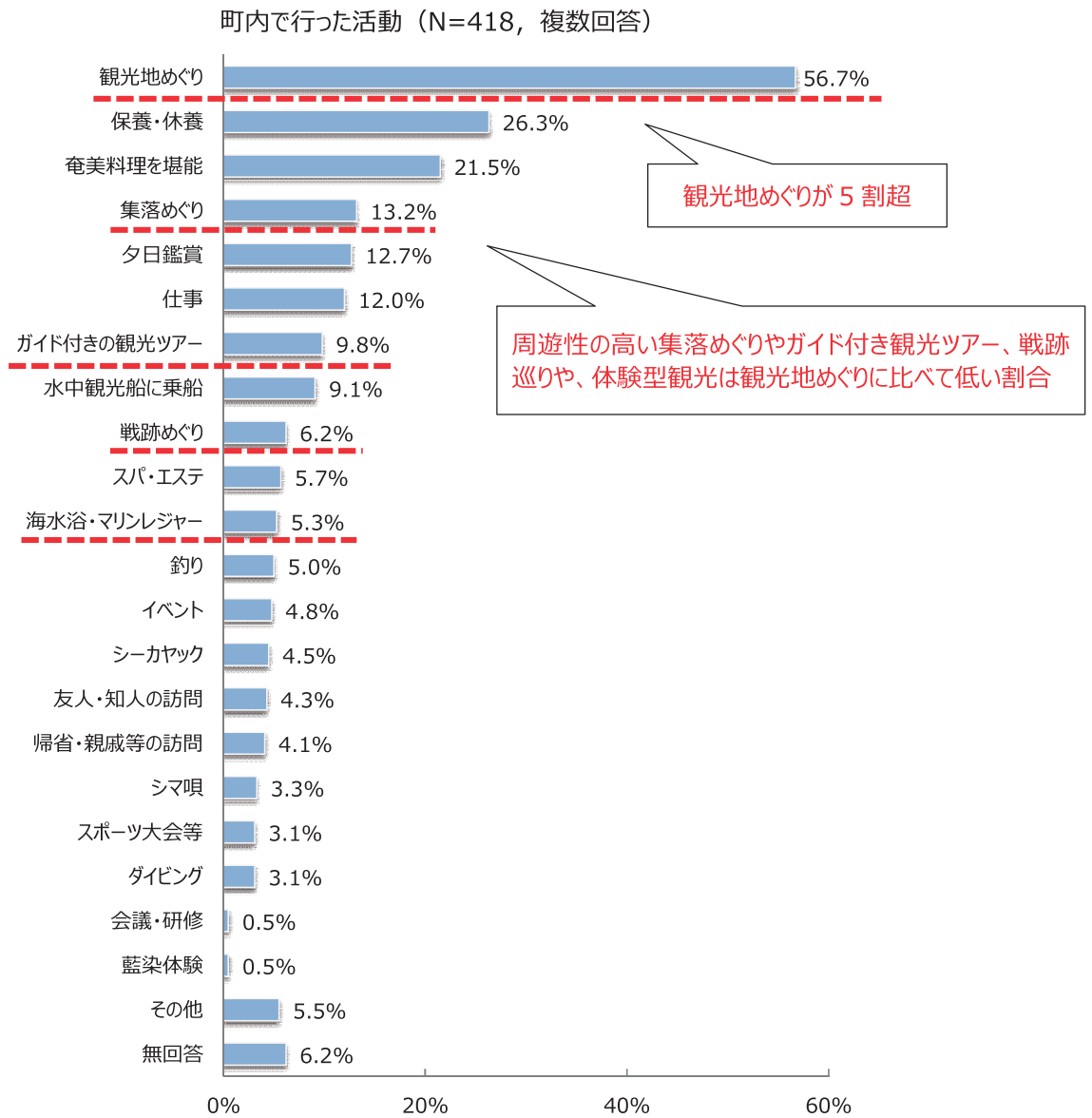


カ) 町内で行った活動

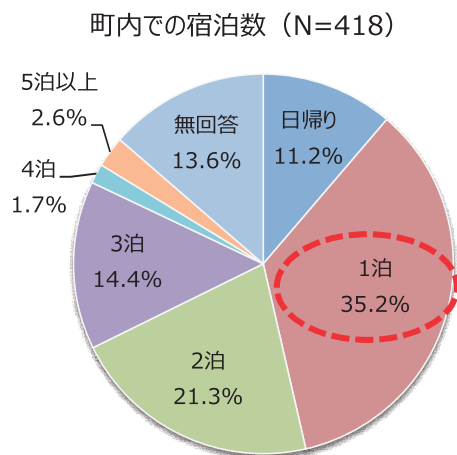
今回の旅行中に行った活動については、「観光地めぐり」が56.7%で最も多く、次いで「保養・休養」(26.3%)、「奄美料理を堪能」(21.5%)などとなっている。



キ) 町内での宿泊数・町外での宿泊数

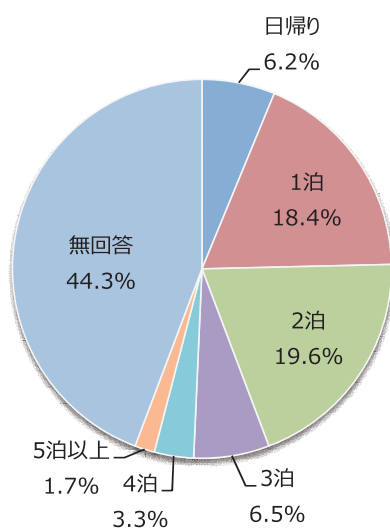
今回の旅行における町内・町外それぞれの宿泊数について、町内での宿泊数は、「1泊」が35.2%と最も多く、次いで「2泊」(21.3%)、「3泊」(14.4%)となっている。

町外での宿泊数は、「2泊」が19.6%と最も多く、次いで「1泊」(18.4%)となっている。



宿泊した人の本町内での
平均宿泊数：1.9泊
(※1か月以上の宿泊は除く)

瀬戸内町以外での宿泊数 (N=418)



宿泊した人の町外での
平均宿泊数：2.1泊
(※1か月以上の宿泊は除く)

ク) 一人当たりの平均消費額

町内での一人当たりの平均消費額は、40,102円となっており、内訳は宿泊費 25,395円 (58.2%)、町内での交通費 4,142円 (9.5%)、土産品・買い物 4,756円 (10.9%)、飲食費 5,223円 (12.0%)、娯楽費・入場料 3,235円 (7.4%)、その他 897円 (2.1%) となっており、宿泊費が最も多くなっている。

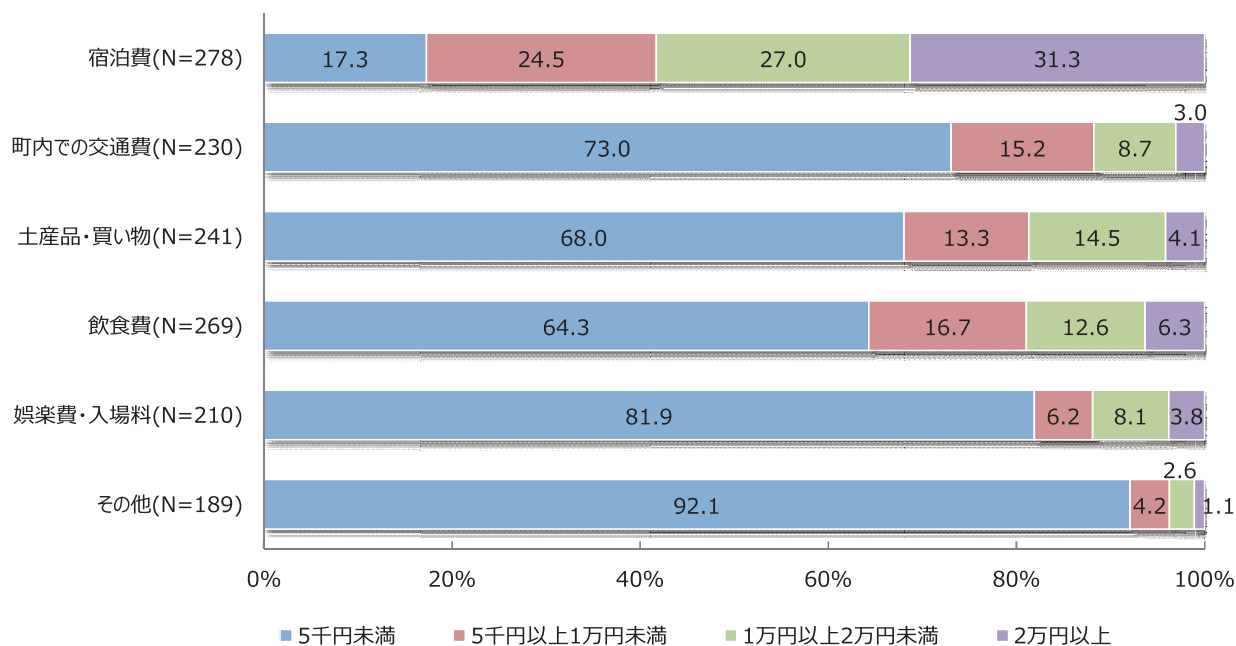
一人当たりの平均消費額 (N=418)

宿泊費以外の消費は
5千円未満が6割以上

消費項目	宿泊費	町内での交通費	土産品・買い物	飲食費	娯楽費・入場料	その他	合計
平均消費額	25,395	4,142	4,756	5,223	3,235	897	40,102
構成比	58.2%	9.5%	10.9%	12.0%	7.4%	2.1%	

[円/人]

※回収調査票に記入された金額で集計しているため、内訳の計と合計は一致しない。
内訳の構成比は内訳の計を100%として算出している。

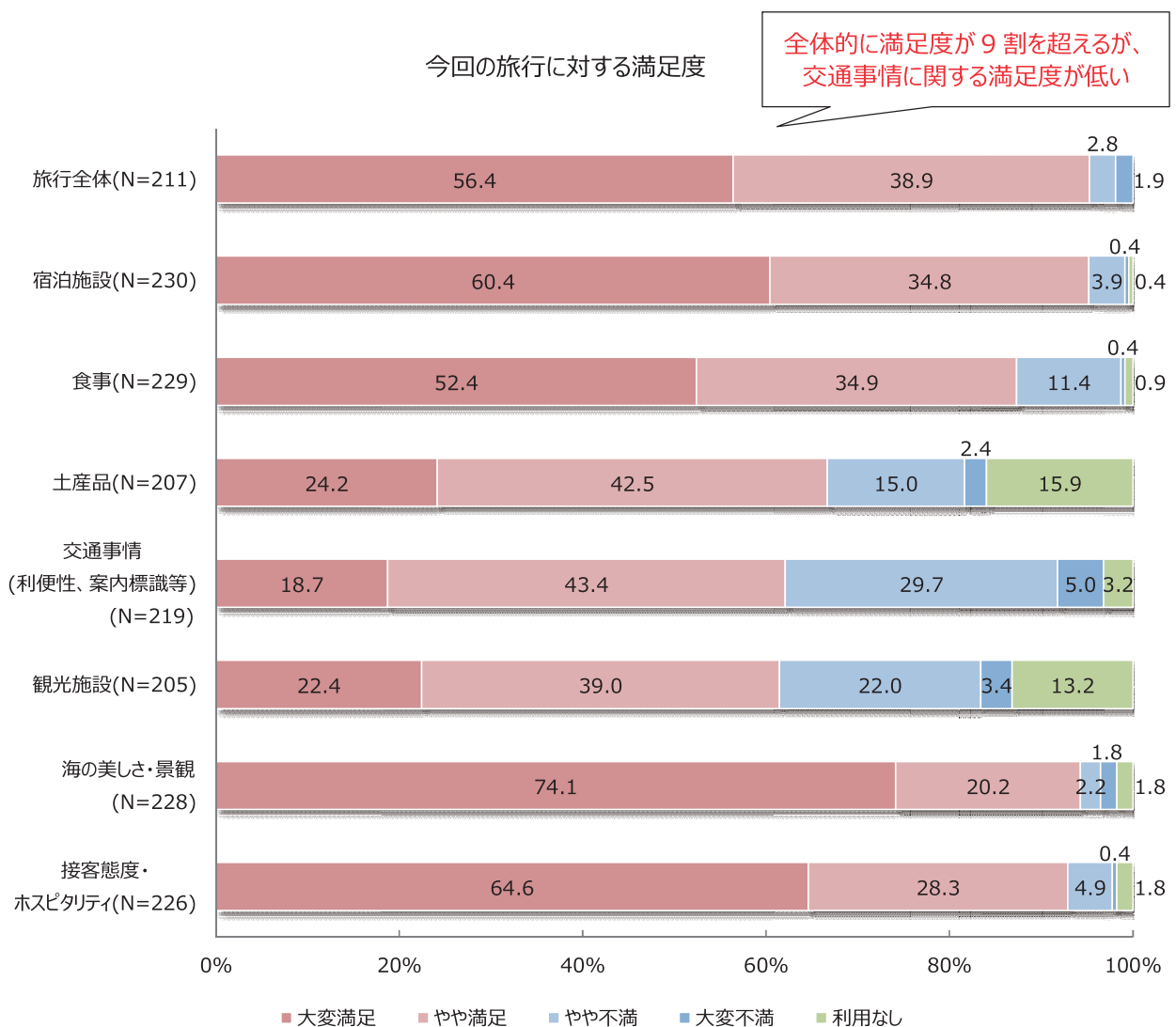


ケ) 宿泊客の今回の旅行に対する満足度

今回の旅行に対する満足度について、旅行全体では『満足』（「大変満足」と「やや満足」の合計、以下同様）が95.3%を占め、『不満』（「大変不満」と「やや不満」の合計、以下同様）は4.7%にとどまっている。

「宿泊施設」、「食事」、「土産品」、「交通事情」、「観光施設」、「海のみしさ・景観」、「接客態度・ホスピタリティ」の7つの個別項目の満足度をみると、「宿泊施設」、「食事」、「海のみしさ・景観」、「接客態度・ホスピタリティ」では『満足』が8割以上となっている。

その一方で、「土産品」、「交通事情」、「観光施設」では『満足』が半数以上を占めているものの、『不満』が1割以上みられており、特に「交通事情」は34.7%と3割以上が不満を感じていることがうかがえる。



コ) 自由意見

主な自由意見は以下のとおり。

○瀬戸内町の雰囲気

- ・今の加計呂麻が好き。あまり便利にならなくていいと思う。店の人、地元の人が優しくしてくれるのが良い。(2回目/女性/20代/千葉県)
- ・いつかここで住みたいと思う町の一つです。空港から遠いのでアクセス面には不便を感じますが、だからこそ来たくなるのかもしれない(2回目/男性/40代/大阪府)
- ・あまり派手派手しい観光化をしないでほしい。環境に優しく伝統文化を長く残してほしい。都会にないものを残すのが、一番良いと思います。(2回目/男性/40代/三重県)
- ・今のままのホスピタリティがずっと続いてほしい。今回特に人の優しさ、温かさが本当に素晴らしいと感じ、これがずっと変わらないでほしいな…と思いました。ただ、空港からの距離がかなりあるので、本当は送迎(有料の循環バス等)があってもいいのかなと思ったりもしました。ですがレンタカーで長い道りに乗ってきて着いた時の喜びがあるにはあります(2回目/女性/40代/神奈川県)
- ・海と空の美しさ。ゆったりした時間の流れ。ホスピタリティのある人々との交流等に大変嬉しく思った。地図が道路にもっとあるとありがたい。(初めて/男性/50代/長野県)
- ・人が温かい。食べ物が美味しい(鶏飯など)。沖縄みたいに観光地化していないところがいい。オフシーズンだったが、見るもの、食べ物が新鮮でとても楽しんでいる。奄美にハマってしまった。(初めて/女性/50代/東京都)
- ・50年前のハワイの趣きの所があると聞き、奄美大島へ初めて訪ねました。海外も多く訪ねましたが、日本の良さを今回の旅で知りました。次回は加計呂麻島へ予定致しまして、資料もご親切に頂まして、夢も広がりました。レンタカーの旅、信号も少なく時間の節約にもなりまして、行動範囲が広がった奄美大島の旅でした。(初めて/女性/70歳以上/千葉県)

○ハードに関して

- ・道の駅など、地域の野菜や鮮魚、肉が並んでいる施設がもっとあると立ち寄る楽しみがある。土産に買い求めたい。(初日に発送してしまう等)(2回目/男性/40代/大阪府)
- ・加計呂麻島内の出先での食事処が無さすぎる。加計呂麻島内の交通手段(バス運行の間隔の短縮・増便)。良いところは手つかずの素晴らしい自然!ぜひ大切に守ってください。宿の食事は「大変満足」でした。(2回目/女性/50代/東京都)
- ・駐車場がない(3回目/男性/50代/福岡県)
- ・道路の整備(加計呂麻は時に)草はらいなど。路肩の草・木などで、なおさら道幅が狭くなり視界も悪かった。(4回目/女性/40代/鹿児島県)
- ・街中に海が見えるスポットがほしい。海の駅では海に近づける経路がほしい。海から離れ、待合になっているのがもったいない。街中の空き店舗などが気になる。海のおさかなプールがとてもいいと思う。ここでしか食べられない・買えない物がもう

少し増えるとまた来たくなる。(5~9回目/男性/40代/広島県)

- ・冬場の遊びがほしい(釣り堀、子どもが遊べるもの)。(10回以上/男性/50代/愛知県)
- ・車の免許がないので、バスの本数が少ないのは痛いなあと思いました。でもそこものんびりできる良いところなのかもしれませんが、もう少しあるとありがたいです。(初めて/女性/30代/兵庫県)
- ・公衆トイレを観光施設の一部と考え、もっと清潔にして頂けるとありがたいです。また、トイレ数を増やしていただけると助かります。島在住の方々の温かさに触れ、とても穏やかな気持ちになりました。サンゴ塩の工場が閉鎖されたと聞きました。貴重な塩で加計呂麻の財産だと思います。シーグラス拾いがとても楽しかったです。潮の流れに合わせて、時が経つと浜に流れ着く場所(沖で)を探して、砕いたビンのかけらを沈めてみては?今、シーグラスは貴重品のようになっていて(人工的に作れない)良い「島おこし」になるかもしれません。(初めて/女性/50代/千葉県)

○ソフトに関して

- ・瀬戸内の人たちとの交流がないです。少し大きめなお土産の店があるといいです。(2回目/女性/50代/愛知県)
- ・リゾート感と郷土感とが共存しており本当に良かったです(初めて/女性/30代/大阪府)
- ・都会暮らしをしているため、日没後の町がすごく暗く感じました。もっと明るく、という方もいるかと思いますが、今のままを大切にしていってください。また島の方たちには受け入れ難いかもしれませんが、旧日本軍の施設はもう少しきちんと町が管理・保存していく方が良くと思います。戦跡を巡るツアーがあれば、私は参加したかったです。(初めて/男性/50代/兵庫県)
- ・どの土産店売り場や物産店に行っても同じ商品が並んでいるだけで商店や食事店ごとの1店1店の売りが残念でした。1店に1品の目玉商品があればもう少し活性化すると思いました。ただ、色んな意味での「ゆるさ」を無くさないでほしいと思いました。(初めて/男性/50代/静岡県)

○情報に関して

- ・カケロマウエルカムが冒険心をそそる。前回、加計呂麻に来た時、コンテナみたいな店でたんかんが入ったうどんを食べ、そのうどんを出してくれたおじさんと話ができてとても楽しかった。東京では体験できない。(2回目/女性/20代/東京都)
- ・夕食をとろうとガイドブックで見たお店が2軒とも貸切で入れず、その他の2軒も満席でお店の人が出てきてくれませんでした。お店が少ないので、そういう情報も事前に分かってうれしいです。夜の食事のことを考えると名瀬になってしまう。(4回目/女性/50代/埼玉県)
- ・交通関係、船と乗継バスの時刻表。「たぶんそんなもの港にあるだろう」と思われるかもしれないが、小さなパスケースに入れられるぐらいの時刻表があるといい。色々な旅の計画が立てられる。(5~9回目/男性/70歳以上/東京都)
- ・日本一のマグロ養殖地というものの、どこで食べられるか全く分からないし、食べた

ことがない。残念！もっとマグロを前面に出した町の活性化を目指してほしい。食べるお店が分からない。物産はどこで売っているか？（10回以上/女性/50代/愛媛県）

- ・観光スポットやお食事処など、ネットで見れる情報量が薄い。道路標識や観光地図など（公衆トイレの場所も）、分かりやすく距離や時間など教えてもらいたいです。日曜日に空いているお店が少ないのかなあと感じました。観光地化が進んでほしいようなほしくない様な、そんな素敵な所が魅力的です。（初めて/女性/30代/福岡県）



諸鈍 デイゴ並木

(4) 地域の意向 (地区長アンケート調査)

地区の自慢や観光資源を把握し、隠れた資源を整理するとともに、地域の意向を把握するため、各地区の区長を対象としたアンケートを実施した。

① アンケート調査概要

地区長向けアンケート調査概要は以下のとおり。

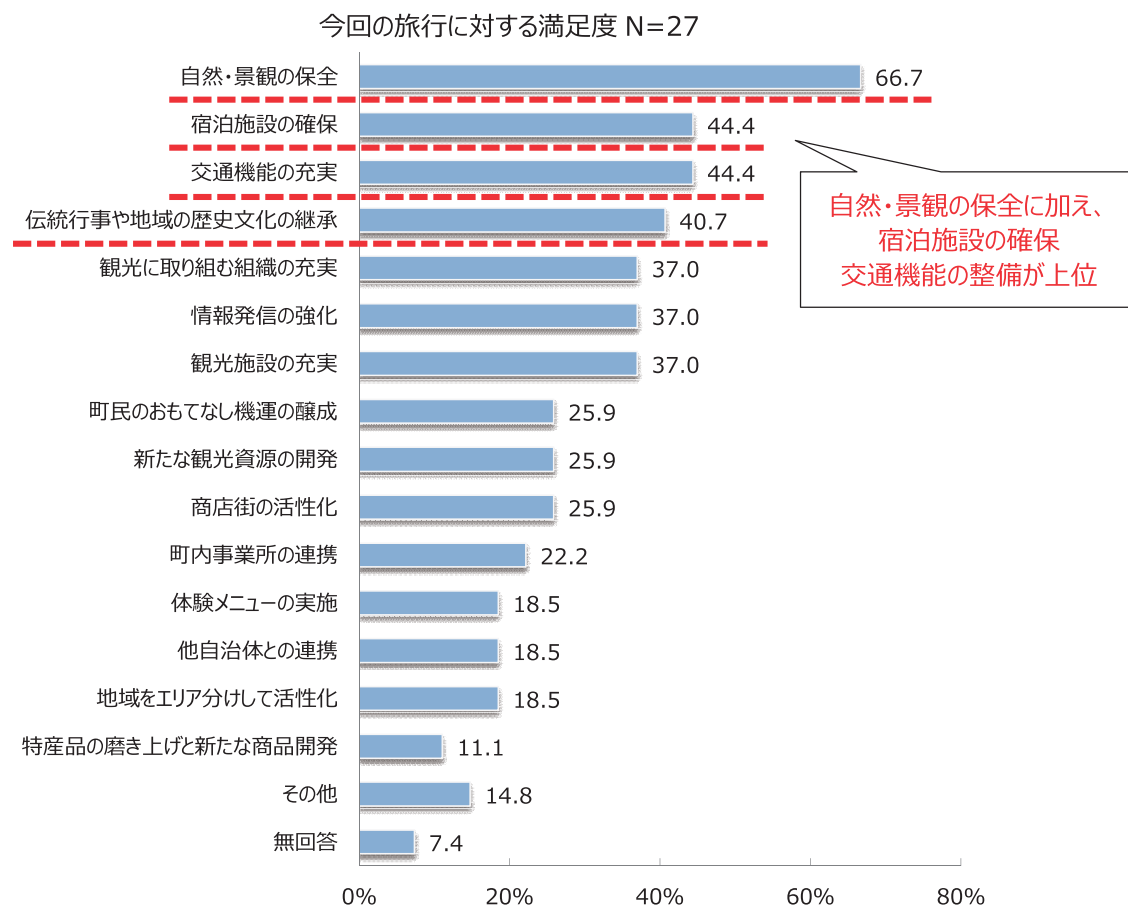
〔地区長向けアンケート調査概要〕

対象者	区長 (全 55 名)
調査日	平成 29 年 11 月
調査項目	集落の観光に関する意見・提案、集落の観光資源、観光を振興する上で必要なこと
有効回答数	27 件

② 調査結果

ア) 観光を振興する上で必要なこと

観光を振興する上で必要なことについて、「自然・景観の保全」が 66.7%で最も多く、次いで「宿泊施設の確保」、「交通機能の充実」、「伝統行事や地域の歴史文化の継承」などとなっている。



(5) 瀬戸内町の観光の課題

これまでの調査から、本町における観光の課題として、次のとおり整理した。

① 情報発信・プロモーションの強化

交流人口動態調査（2015年度）交流人口動態調査によると、奄美大島への来訪者のうち、本町まで来ているのは1/3程度にとどまっている。

今後、NHK大河ドラマ「西郷どん」や世界自然遺産登録による観光入込客の増加が予想されるため、奄美空港・名瀬港からの観光入込客へ本町の魅力に関する情報発信を行い、本町まで呼び込む仕組みが必要である。

② 町内の回遊性向上と滞留時間延長のための仕掛けづくり

来訪者・宿泊者アンケート結果から、海の駅やホノホシ海岸、加計呂麻では体験交流館など、決まった場所にしか行かず、複数の立寄りや回遊性が低い状況となっている。

町内回遊性の向上、滞在時間延長のために、町内各地で観光資源の発掘・磨き上げや、町内の受入環境を整備し、来訪者へ楽しみ方を提案する必要がある。

③ 町民の我が事意識の醸成と人づくり、連携強化

LCCの就航により、本町への来訪者は増加しているが、宿泊業など一部の観光関係者を除く他の産業従事者や町民の方々は「我が事として捉えていないのではないか」といったことや、「問題意識を持っている人は多いが、一歩が踏み出せない」といった声がヒアリング調査で挙げられた。

観光は、地域づくりや産業振興、雇用の創出に大きな役割を果たし、宿泊業のみならず、飲食業、小売業、さらには農林水産業、製造業など広範囲の産業への波及効果が見込まれる。

観光に取り組むことで、町民生活の利便性が高まり、所得が増えるという認識や実感でいることが必要になる。

町内での観光推進体制を構築し、町内各関係機関との情報共有・積極的な連携により、観光に関わる団体・人を増やし、我が事意識の底上げにつながる取り組みが求められる。

3. 瀬戸内町観光振興の基本方向

(1) 基本理念

観光を取り巻く社会経済情勢や環境の変化、観光への期待、近年の動向及び本町の特性・課題を踏まえ、目指すべき将来の姿として次のとおり設定する。

見て・知って・触れて ……きっと好きになるまち・せとうち

具体的な姿として、

- ①特別なものではなく自然と共生する瀬戸内の日常に、共感し感動した来訪者（観光客）が、この地を好きになり、特別な場所として繰り返し訪れるまちとなっている。
- ②町内で楽しめる観光メニューが豊富に用意され、来訪者はその時の同行者や天候などの状況に応じてメニューを選択し、楽しむことができる。
- ③町内関係機関等の横の連携強化による情報共有、情報発信・プロモーションの一元化（ワンストップサービス機能の強化）が図られ、来訪者の利便性が高まっている。
- ④町民が“我が事”として観光に取り組むことで生活の利便性が向上し、観光客の増加に伴って雇用が安定し、町民所得が向上している。

